

月日	支出 書 番号	摘 要	収入額	支払額	残額	費 目							
						研修会・ 会議費	資料購入及 び作成費	広報費	使用料及 び借上料	通信運搬費	旅費及び 交通費	事務雑費	会派共用費
4	15	0001 政務活動費振込 (4～6月分)	210,000		210,000								
7	12	0002 政務活動費振込 (7～9月分)	210,000		420,000								
10	15	0003 政務活動費振込 (10～12月分)	210,000		630,000								
1	9	0004 会派視察における交通費並びに宿泊料		21,550	608,450						21,550		
1	15	0005 政務活動費振込 (1～3月分)	210,000		818,450								
		0006			818,450								
		0007			818,450								
		0008			818,450								
		0009			818,450								
		0010			818,450								
		0011			818,450								
		0012			818,450								
		0013			818,450								
		0014			818,450								
		0015			818,450								
		0016			818,450								
		0017			818,450								
		0018			818,450								
		0019			818,450								
		0020			818,450								

預金利息	0
------	---

合 計	0	0	0	0	0	21,550	0	0	21,550
-----	---	---	---	---	---	--------	---	---	--------

会 派 名	大阪維新の会高槻市議会議員団	令和7年1月9日 発行
		令和 6 年度
議 員 名	竹中 健	費 目 旅費及び交通費

下 記 の 金 額 を 支 出 す る。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額		¥	2	1	5	5	0

ただし

会派視察における交通費並びに宿泊料

備 考

・ 按分による場合 政務活動費充当額（上限額がある場合その額）

円

支払い額 按分率

円 × / = 円

・ 広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・ 図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名（

様式第11号(その1)

出張実施簿(管外)

令和 6年 7月 25日

高槻市議会議長 様

議員名 竹中 健



下記のとおり出張したので報告します。

出張の期間	令和 6年 7月 24日(水)～令和 6年 7月 25日(木)		
出張先	小松市・石川県		
出張の目的	研修会・会議 調 査 視 察 その他 () *いずれかに○を付けてください。また、その他の場合は、その内容を記入してください。		
旅 費 額	交 通 費	宿 泊 料	合 計 額
	12,240 円	9,310 円	21,550 円
参加費等その他必要な経費	0 円		
費用総額	21,550 円		

* 参考となる書類があれば、添付して下さい。

参考様式

政務活動実施報告書

令和 6 年 7 月 25 日

(宛先)高槻市議会議員

議員名 竹中 健



(又は会派名及び代表者名)

下記のとおり実施したので報告します。

実施日時	令和 6 年 7 月 24 日 (水) ~ 令和 6 年 7 月 25 日 (木) 時 分 ~ 時 分
実施場所	小松市, 石川県
目的	☐ 研修会・会議 (参加者 人) ☒ 視 察 ☐ 調 査 ☐ その他 () *いずれかにチェックを付けてください。また、「その他」の場合は、その内容を記入してください。
活動の概要	別紙

*参考となる書類があれば、添付して下さい。

会派視察（7月24日・25日）日程

1日目 7/24 (水)				
9:15	◆集合	JR高槻駅 改札前		
	・J R	9:13	高槻 発	新快速
		9:25	京都	乗換 (17分)
		9:42		サンダーバード11号
		10:35	敦賀	乗換 (23分)
		10:58		北陸新幹線 はくたか562号
		11:45	小松 着	
12:00	◆昼食			
14:00 ～16:00	■視察	小松市役所		
		自治体型ライドシェアについて		
	・小松市ライドシェア実車体験にて移動			
17:00頃	◆チェックイン	「変なホテル 小松駅前」(050-5210-9990)		
18:00	◆夕食			
2日目 7/25 (木)				
8:20	◆集合	ホテルフロント前		
	・I R いしかわ鉄道	8:43	小松 発	旧JR並行在来線
		9:17	金沢 着	
	・バス	金沢駅西口9:30発→県庁9:38着		
10:00 ～11:30	■視察	石川県庁		
		能登半島地震における被災者情報収集等の課題とDX戦略		
13:00	◆昼食			
	・J R	14:05	金沢 発	北陸新幹線 つるぎ25号
		15:02	敦賀	乗換 (12分)
		15:14		サンダーバード26号
		16:09	京都	乗換 (6分)
		16:15		新快速
		16:27	高槻 着	
16:30頃	◆解散	JR高槻駅		

■ 交通費

4

* J R 運賃 (高槻→小松) 3,740円

経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
高槻			時刻表 路線図 出口・地図	
09:12-09:25 13分	JR JR京都線新快速(草津行)	前後列車	前・後 3,740円	21.6km
乗換5分 待ち12分		2番線着 0番線発	時刻表 構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
09:42-10:35 53分	特 サンダーバード11号(敦賀行)	前後列車	↓ 指定席 3,290円	94.1km
乗換12分 待ち11分		[当駅始発] 14番線発	時刻表 構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
10:58-11:45 47分	新 新幹線 はくたか562号(E7/W7系)(東京行)	前後列車	↓ 指定席	98.0km
小松		11番線着	路線図 出口・地図 クーポン グルメ	

* I R いしかわ鉄道 運賃 (小松→金沢) 580円

経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
小松			時刻表 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
08:43-09:17 34分	私 IRいしかわ鉄道(金沢行)	前後列車	580円	28.4km
金沢		3番線着	構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	

* 北鉄金沢バス 運賃 (金沢駅西口→県庁前) 240円

出発 09:13分	金沢駅西口	9:40頃発	9:40頃着
乗車位置	北鉄金沢バス (02)中央病院 中央病院 (石川県) 行	運賃	240円
09:13分	県庁前	9:40頃着	9:40頃着

* J R 運賃 (金沢→高槻) 4,510円 + 指定席料金 (金沢→敦賀) 3,170円 = 7,680円

経路	乗車位置	運賃	指定席/料金	距離
金沢			時刻表 構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
14:05-15:02 57分	新 新幹線 つるぎ26号(E7/W7系)(敦賀行)	前後列車	4,510円 指定席 3,980円	125.1km
乗換12分 待ち0分		[当駅始発] 11番線着	時刻表 構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
15:14-16:09 55分	特 サンダーバード26号(大阪行)	前後列車	↓ 指定席	94.1km
乗換5分 待ち1分		7番線着 5番線発	時刻表 構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
16:15-16:27 12分	JR JR京都線新快速(福知山行)	前後列車	↓	21.6km
高槻			路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
金沢			時刻表 構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	
13:05-14:02 57分	新 新幹線 つるぎ23号(E7/W7系)(敦賀行)	前後列車	2,310円 指定席 3,170円	125.1km
敦賀		11番線着	構内図 路線図 出口・地図 クーポン グルメ	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

支出書番号

4



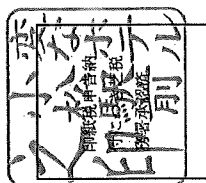
松本ナナ

登録番号 T6011101078646

¥9,310
10%対象 (内消費税 ¥846)

No.104372-DB
PA 9,310

担当



日付: 2024/07/24

様

¥9,310 -
(内消費税 ¥846)

上記正に領収致しました。

但し 宿泊代として

竹中 健

領収書
RECEIPT

領 収 書

Receipt
領収年月日 2025.-1.-9
金額 ¥3,740 (消費税等込み)

竹中健 様

登録番号: T1120001059675
税 10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(20149 2枚)
西日本旅客鉄道株式会社
高槻駅N3発行 60153-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収書

領収年月日 2024.-7.-25

金額 ￥ 580-

上記金額確かに領収いたしました。

購入内容 乗車券類購入

原券番号 88-5400

IRいかわ鉄道株式会社

小松駅発行 88-00735

印紙税申告納
付につき金沢
税務署承認済

領 収 書

Receipt
領収年月日 2025.-1.-9
金額 ¥7,680 (消費税等込み)

竹中健 様

登録番号: T1120001059675
税 10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(20149 2枚)
西日本旅客鉄道株式会社
高槻駅N3発行 20142-02

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

※1 A4の領収書等は、用紙に貼らずに原本の右上に支出書番号を記入のうえ提出してください。
(本用紙の提出は必要ありません)

※2 領収書等は重なり合わないよう、四隅を糊付けして、なるべく枠内に貼り付けしてください。

※3 領収書等が複数枚あり、1枚に貼りきれない場合は、この用紙をコピーしてお使いください。

※4 感熱紙のレシートは、原本を用紙に貼ってください。(コピーは別紙でお願いします)

※5 向きを変えると枠内に貼付が可能な領収書等は、向きを変えて貼付してください。

大阪維新の会 高槻市議会議員団
竹中 健

【概要】

■視察日程

令和6年7月24日（水）～25日（木）

■視察先

7月24日（水）石川県小松市

テーマ：公共交通について／ライドシェアについて

7月25日（木）石川県

テーマ：避難者管理について

【視察内容】

■石川県小松市

（全体概要）

- ・バス主体の公共交通。小松駅を中心にバス路線が放射線状に走っている。
- ・生活路線バス13路線。コミュニティバス3路線
- ・50～60歳の運転手がメイン。この先運転手不足に陥ることが予測される。
- ・自動車は1世帯あたり1.6台。免許年齢を考えると1人1台。→バスを利用してこなかった世代が高齢化している。免許返納がされない。
- ・山間地は乗り換えタクシーに切り替えて、900万円→400万円まで経費削減ができた。
- ・今年～来年に向けて、公共交通計画を見直して、最新技術についても具体的に取り組んでいきたい。
- ・自治体ライドシェア研究会での議論を経て導入。

（根拠、背景）

- ・自家用有償旅客運送制度の改革（道路運送法第78条第2号関係）で、交通空白地の「時間帯による空白」の概念も取り込む。
- ・タクシーがコロナで休んでしまったことで休みになれてしまったことと、高齢化によって夜間のタクシーが減少していった。

（事業概要）

- ・発着のいずれかが小松市内に限る
- ・木曜、金曜、土曜日に運行（ドライバーが必要になるから限定的）
- ・17時～24時。地元タクシー協会からの聞き取り。夜間にタクシーが不足とのこと。
→タクシーが不足している時間帯を交通空白と定義
- ・ドライバーは、一般公募及び市職員の副業
→様々な条件はある。普通免許所持者は「指定する講座（大臣認定講習）」を受講。
→講習は各都道府県で内容や場所が決まっている。小松市では社団法人に依頼して派遣型で研修をしている。業者への委託料から研修費は捻出している。

→市職員は「地域貢献活動」の副業は認められており、ライドシェアの運転手や部活動の指導者など。

- ・報酬

→運賃の70%（運賃はタクシー料金の80%）

→燃料費、夜間手当、通信費などの手当も。

- ・ドライバー登録者19人。市職員は6名

- ・ドライブレコーダーの無償設置などの補助も実施
（利用実績）

- ・資料参考。1日あたり3.1件で5.4人。

- ・周知に課題がある。新しいことを始めても根付くまで2年かかる。

- ・利用者、ドライバーの声は資料参考

- ・深夜まで増やすと客は増えるが。ドライバーの確保や泥酔者の対応などに課題

- ・タクシーとの共同輸送サービスの実現に向けて。

→1つのアプリで、一元管理システムを通じて、タクシー、公共ライドシェアなどにつなげる。

- ・自治体によって課題は違う。制度も次々変わる。だからこそ、情報キャッチがとても大切。

- ・ドライバー確保のために、自動車教習所の先生、運転代行の会社との連携も今後模索したい。

（所感）

本市においては公営バスを運行しており、市民の足を確保している側面もあるが、近年の運転手確保の問題や人口減少による収益悪化の問題など課題は山積している。持続可能な公共交通を維持していくためにも、現在山間部の地域特性に応じた交通手段の導入を進めているところであるが、ライドシェアについてもその一考の余地はあるものと感じた。

■石川県

（背景）

- ・能登半島地震では金沢市でもかなり揺れた

- ・令和4年、令和5年と地震が続き、1月1日に発災した

- ・帰省者も多くいて、情報をキャッチすることが難しかった

- ・避難者 最大34,000人→現在1,720人

- ・能登6市町 人口12万人、高齢化50%近い。どうやって避難させるかという課題

（事業概要）

①STEP1 避難所情報「場所と人数を特定」

- ・インフラがこわれて、指定避難所に避難することができなかった

- ・職員も被災者であり、行政機能も落ちていた

- ・石川県総合防災情報システム「EYE-BOUSAI」。システムはあらかじめ持っていた

[課題]

1. 市町の避難所情報の統一がされていなくて入力できなかった。
2. 指定避難所以外の避難先が多数発生。

→自衛隊が個別で把握して情報を共有してくれた

[取り組み]

1. 自衛隊が写真撮影。アップロードをしてもらった情報を把握。DMAT もきちんと運用
2. それらの情報を一次集約して、正しい情報かどうかを市町に確認
3. EYE-BOUSAI にデータを集約→情報発信につなげた。

②STEP2 避難者情報「支援対象を特定」

- ・要介護、高齢、障害などの情報を把握するのか

[課題]

1. 避難所以外の被災者把握
2. 避難所から退所された避難者はどこへ行ったのか。17,102 名。
→被災者が広域に避難。被災者情報（特に要支援者）を把握・共有する仕組み

[取り組み]

1. 広域被災者データベースを構築（防災 DX 官民共創協議会が協力）
→民間が無償で構築してくれた。
2. 被災者台帳をつくれる、という法律。それを根拠に各 6 市町から住民基本情報を集めた
3. それをもとに、避難情報と突合して行って、情報をアップデートしていった
4. 避難所以外の被災者名簿 R6.2.15 時点で約 10,600 人。
5. 義援金の配布の際に、どこにいるかを把握した。96%が登録。
6. 来たらタッチ利用者名簿（Suica をタッチすることで情報をキャッチアップ）
→避難所でもやったが、入浴施設でも実施。Suica を登録することで入浴ができる
現在は 17 施設。輪島市、珠洲市のほうでも導入予定。
7. 集まった情報を市町に返す。これをしたかった。
8. 個人情報の問題の法的整理。
→災害基本対策法のなかでクリアに。
9. 電子カルテの共有いしかわ診療情報共有ネットワーク（医療関係者が利用するもの）
→災害ではなく、医療の現場では非常に役に立った
10. 6 市町住民のデータベース登録状況
→119,326 人（何かしらの情報をいれた）／登録率 95.6%。

③STEP3 生活再建支援「どこにいてもニーズに応じた支援」

1. 避難所データ⇔被災者データ⇔支援の間で情報共有すべきだが、課題もあり難しかった
 2. マイナンバーカードがあれば、様々対策ができたかもしれない
- ※データ収集→統合→可視化→意思決定 のプロセスを一貫して行うことが大切

（今後について）

- ・ いしかわモデルとして全国展開を目指す。国の交付金を申請してもらっている
→大阪などでも使えるように標準システムをつくる

(所感)

避難者情報を ICT 活用にて、一括に把握し管理できるシステムは、本市に限らず地方自治体においてはとても有意義なものだと感じた。避難所避難・避難所外避難に関わらず情報をキャッチし、必要な支援を実施できる体制を構築することは、今後の災害対応として必要性を感じるし、本市もしくは大阪府においても導入を検討すべきだと考える。